

収穫への感謝 野菜で彩る



「獅子舞」の奉納

収穫への感謝と五穀豊穡を祈る御園神社秋祭りが10月13日、上奈良地区で行われ、地域住民が「ずいきみこし」をひいて区内を巡行しました。

ずいきみこし 2年ぶり巡行

「こし」と呼ばれています。昨年は台風21号で農作物が被害を受け、みこしを組むことができなかったため、巡行は2年ぶりとなりました。

みこしは、法被姿の地域住民たちにひかれて、上奈良公会堂を出発。地域を巡行した後、高張り提灯に先導されて同神社に向かいました。

境内では、中世の芸能である天狗面をつけた子どもによる「王の舞」、若者2人による「獅子舞」を奉納。「獅子舞」では、獅子頭が口を閉じるときに鳴る音の大小で収穫の程度が占われるとされており、大きな音が境内に鳴り響くと観衆から大きな拍手が送られていました。



「ずいきみこし」を担ぐ法被姿の担ぎ手たち

いろいろな料理 基礎から学ぶ ビギナーズ料理教室

料理の初心者などを対象に「ビギナーズ料理教室」(全3回)の2回目が10月3日、生涯学習センターで行われ、30~80代の9人が参加しました。

この教室は、料理の初心者や苦手な人たちに、基礎から順に料理を学んでもらおうと、八幡市食生活改善推進員協議会がはじめて企画しました。

1回目の教室では、野菜の切り方や出汁の取り方などを学んだ参加者たち。今回は野菜炒めやチキンソテー、サバの塩焼きなど、栄養価も考慮

された5品の料理に挑戦しました。

参加者たちは同会のメンバーに教わりながら、野菜を切るなどして下さり。その後、野菜を炒めたり、火加減を確認しながら鶏肉やサバを焼いたりするなどし、おいしいような料理を完成させていました。

1歳7カ月になる息子さんを連れて参加したお母さんは、「料理の基本を学ぼうと思って参加しました。野菜の下処理などから教えてもらっていいですね」と話していました。



野菜を切る参加者たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

手作り竹とんぼに歓声

放置竹林対策、考えるイベント

放置竹林対策を楽しく考えるイベントが10月20日、石清水八幡宮頓宮で開催され、家族連れなどたくさんの方々が竹とんぼ作りなどを体験しました。

このイベントは、山城地域の住民たちに楽しみながらまちの課題解決を考えてもらう催しを通して、地域貢献活動に関心を持ってもらおうと、一般社団法人山城青年会議所が主催しました。

放置竹林対策を楽しく考えるイベントが10月20日、石清水八幡宮頓宮で開催され、家族連れなどたくさんの方々が竹とんぼ作りなどを体験しました。

また、来場者全員で竹とんぼ同時飛ばしの世界記録(631人)にも挑戦。記録は150人で残念ながら世界記録には届きませんでした。たくさんの手作り竹とんぼが空に向かって一斉に飛んでいくと、来場者たちから大きな歓声が上がっていました。



竹とんぼを一斉に飛ばす来場者たち

今月のこの人 勝負強さで大学野球準V



まつもと とうへい 松本 康平さん

プロフィール
小学2年生から野球を始め、今年6月に開催された「第88回全日本大学野球選手権大会」で準優勝を収めた。佛教大学4年生。ポジションは外野手。

スポーツ推薦で入学した選手もいる中で、昨年までスタメンとして活躍し、最終学年の今年、試合の勝負どころで代打などを任されている松本さん。

第88回全日本大学野球選手権大会について、「ベスト4を目標に挑んで準優勝。優勝を逃して悔しかったですが、決勝に上がるまでに、強豪校相手に4勝できたことがうれしかったです」と振り返りました。

来年からは一般企業への就職が決まっており、「20歳を過ぎるまで、野球一筋

でやってきたので、野球以外のこともやってみたいと思い、就職活動をしました。社会人になってからも、野球での経験を生かして、高い壁にぶつかっても乗り越えていきたいです」と新たな世界に進んでいきます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。秘書広報課へお問合せください。